

県は前向き、市は消極的

先日、県の担当者から説明を受けた際、アリーナ機能と競輪機能の両立は可能との見解が示されました。県民コメントの中でも「与野中央公園のアリーナを大宮公園に建設してほしい」という声が寄せられていることを県から確認しました。県の担当者は「市のほうから持ちかけてくれれば」という趣旨の発言もしていました。

しかし市の答弁は冷淡なものでした。「県から現時点で何も伺っていないことから、お答えにつきましては差し控えさせていただきたい」と、検討すら拒否する姿勢です。市として、県との連携案について検討あるいは研究していくことができないのか、改めて答弁を求めましたが、市は「県のスーパー・ボールパーク構想の進捗については注視したい」と述べるにとどまりました。まさに「他人事」の姿勢です。

▼大宮スーパー・ボールパーク構想におけるゾーニング及び動線計画



市民が誇れる最高の公園に

与野中央公園は、次世代型アリーナの有無にかかわらず、市民が誇れる最高の公園として整備してほしい。そんな思いから、今後の整備方針として2つの機能を提案しました。



大宮スーパー・ボールパーク構想との連携を提案
入札不調から3か月——先行きはいまだ不透明

2025年6月13日、さいたま市は与野中央公園内の収容人数5000人規模のアリーナ建設を含めた「次世代型スポーツ施設」整備事業について、入札参加者から辞退届が提出されたため、一般競争入札手続きを中止すると発表しました。市の答弁によれば、民間事業者へのヒアリングを行った結果「急激な物価高騰による整備費や労務費の増大に伴う事業費と、予定価格等の乖離」が指摘されたとのこと。議会で現状を質しても、「調査中」と言い続けるだけでは、地域住民の不安は解消されません。このまま膠着状態を放置せず、新たな選択肢を示す必要があると考え、県が進めている「大宮スーパー・ボールパーク構想」との連携を提案しました。

大宮スーパー・ボールパーク構想とは何か

埼玉県は2022年3月に「大宮スーパー・ボールパーク構想」を公表し、2025年9月に基本計画を策定しました。具体的には、大宮公園内の県営大宮球場やサッカー場を新設改修し、競輪場を多目的競技場に変更する計画です。私が注目したのは、競輪機能を維持しつつ別機能を追加する多目的競技場です。ここにアリーナの機能を持たせることを、市として県に提案してはどうかと質疑しました。

第3の選択肢を示す

現在、アリーナ建設について市が示している選択肢は実質的

に2つです。市単独で多額の予算を投入して実現するか、予算の都合で断念するか。しかし、第3の選択肢として、県との連携による実現というものもあるのではないのでしょうか。この提案には大きなメリットがあります。

《財政面のメリット》

- 予算を市と県で分担することで、市の負担を大幅に縮小できる
- アリーナと競輪の複合施設により、収益性を確保できる

よく似た事例の成功例として「前橋グリーンドーム」があります。この施設は競輪場としての機能を持ちながら、コンサートや各種イベントなどの多目的利用によって、競輪開催日以外の有効活用で大幅な収益向上を実現しています。また、前橋市に対して利益の一部を2023年度は3億円、2024年度は3.5億円還元している実績もあります。

《機能面のメリット》

- 野球場、サッカー場、アリーナが一体となった相乗効果で経済効果が期待できる
- 各施設のスケジュールを調整することで、年間を通じて賑わいを創出できる

《アクセス性のメリット》

- 大宮公園の知名度とアクセスの良さが与野中央公園より優れている
- 駐車場や交通インフラが既に整備済み



市民の声が動かした！ 与野中央公園の暫定利用

現在、与野中央公園は調整池の工事が進む一方で、アリーナ計画の停滞により全体の先行きが見通せない状況です。この間、多くの市民から暫定利用についての要望が寄せられていました。

これらの市民の声に応えるため、工事の進捗状況に関係なく利用できる場所を整備し、市民に開放することを求めました。

都市局から前向きな答弁

都市局長からは「公園全体の工事完成までの期間、市民が利用できない状況とならないよう、部分的な公園の供用の可能性についても検討する」とのかなり前向きな答弁がありました。ぜひ早期に実現してほしいと思います。多くのみなさんが待っています。



- ▶グラウンドゴルフを行ってきた団体みなさんから「活動場所を作ってほしい」
- ▶周辺の保育園の方から「子どもたちのお散歩や外遊びの場所にしてほしい」
- ▶周辺住民のみなさんから「今後数年間、バリエードを見ながら生活するのは苦痛」

日本共産党 さいたま市議会議員

たけこし連

たけこし連事務所 下落合5-10-3(法務局向かい)
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165

生活相談 毎週水曜日13時30分～16時 無料

法律相談 第4金曜日13時30分～
(要予約)
弁護士が相談にのります



さいたま市議団
YouTube



日本共産党さいたま市議会議員団 議会報告 TEL048-829-1811 FAX048-833-8165

発行：日本共産党さいたま市議会議員団 2025年11月 〒330-0061 さいたま市浦和区常盤6-4-4 さいたま市役所内
市政についてのご要望、ご意見は、日本共産党さいたま市議会議員団にお寄せください。

ホームページ www.jcp-saitama.jp



あなたの願いによりそう、支える。
そんなさいたま市政へ

一歩ずつ確実に **前進**

- 岩槻区で投票所増設を実現。投票率が上がりました。
- 応急手当で講習でASUKAモデル上映実施実現。
- 4年連続犬猫の殺処分ゼロ達成。

市民のために提案



8月29日、「危険な暑さから市民の命を守るための申し入れ」で、エアコン購入助成、学校給食調理室へのエアコン設置などを求める。

- 救急車への電動ストレッチャー導入を提案！
- 市は「厳しい財政状況で収支不足」と言いながら、毎年黒字。市民に分かりやすく説明するべき。
- 2026年度から県水が21%値上げ！市の水道料金を値上げしないよう求める。
- 電動アシストなど、自転車が大型化しているため、市内駐輪場の安全を確保して！
- 香りの害、「香害」って知っていますか？香害を知らせるポスターの周知と、人がいるときに公共施設での総揮発性有機化合物(TVOC)の測定を。



相次ぐ入札不調

武蔵浦和学園、中央区役所＋周辺施設再編、次世代型アリーナ構想

さいたま市は相次ぐ入札不調のおもな理由に「物価高騰」をあげていますが、そもそも積算が甘かったことが明らかに。市は一般的な戸建て住宅建設用の指標を使ってきましたが、大型建築物工事に用いられる指標は約3倍と乖離しています。これを適用すると、中央区役所周辺施設再編事業の予算は314億円から560億円以上にふくれあがります。事業費増額を前提にこのまま事業を続けるのか。大型公共事業の見直しが必要です。

市立病院が41億円の赤字

さいたま市立病院(緑区)の2024年度決算は約41億円の赤字でした。患者が増え、収入も増えましたが、物価高騰で、医薬品の仕入れや施設の維持管理など、様々な費用が膨れ上がったことが赤字の主な原因です。国の診療報酬引き上げが物価高騰等に追いついておらず、市立病院の経営努力だけでは解決できません。私たちは国に診療報酬引き上げなど対応を求めるよう、また当面は市からの支援を拡充するよう提案しました。



金残高(市の預貯金)は合計949億円と、前年度比で83億円も増えました。

一方で、物価高騰が続く中、高齢者の約7割が所得10万円未満の厳しい生活を強いられています。そのため昨年度は市民生活を支援する政策、とくに高齢者への支援が不可欠でした。ところが、市の支援策は「デジタル地域通貨の活用」など、高齢者には届きにくい内容。また、公設民営方式で運営されていた「グリーンヒルうらわ」が廃止され、入所者や多くの高齢者から、寂しさと戸惑いの声が相次ぎました。さいたま市は今こそ、黒字を生かして市民に寄りそう政策を推進すべきです。

託された思いを届ける



10月1日、520項目の「2026年度予算編成及び市政運営に関する要望書」を市長に提出

各区の要望を提案

- 西区** 宮前町に計画中の産業集積拠点について、林の伐採は一部にとどめ、公園建設部分の樹木を残し、保存すること。
- 北区** 大砂土小学校の大規模化・過大規模化解消のため、新設校を計画すること。
- 見沼区** 七里駅北側の桜の木を市の責任で守ること。
- 大宮区** 大宮駅東口から区役所への「無料のシャトルバス」を整備すること。
- 中央区** 与野体育館にエアコンを設置すること。
- 浦和区** 調公園のじゃぶじゃぶ池を、子どもが遊べるように復活させること。
- 桜区** 中浦和駅前に公衆トイレ及び図書館の返却ポストを設置すること。
- 南区** 笹目川遊歩道にベンチを設置するなどの整備を進めること。
- 緑区** 東浦和駅近くに新しくできる商業施設に期日前投票所を設置すること。
- 岩槻区** 「おりづる号」を大型バス車両に変更するか、2台に増やすこと。

あなたの願いに応える会派は？

	請願名	共産	立憲	公明	さいたま市民団	維新	みらい	無所属
6月議会	所得税法第56条を廃止するよう国や政府機関に意見書を上げること	○	×	×	×	×	×	×
	3000人規模の義務教育学校「武蔵浦和学園」建設計画の見直しを求めます	○	×	×	×	×	※	×
9月議会	生活保護を躊躇なく申請できるよう、市民への広報・周知の拡充を求める	○	×	×	×	×	×	×
	国に「消費税のインボイス制度見直しの意見書」提出を求める	○	○	×	×	×	×	×

2025年度 市民の願い(請願)に対する各会派の採決態度 ○…採択 ×…不採択 ※…一部退席